

KVK 壁付シングルレバー式混合栓 MSK110K(Z)B 〈各仕様共通〉 施工説明書1

施工前にこの施工説明書をよくお読みのうえ、正しく施工してください。
 施工後は、お客様へご使用方法を十分ご説明のうえ、この施工説明書と取扱説明書をお客様へお渡しください。

安全上のご注意

施工前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく施工してください。

人への危害、財産の損害を防止するために、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った施工をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

警告 「死亡または重傷」に結び付く可能性があります。

注意 「傷害または物的損害」に結び付く可能性があります。

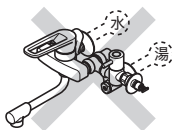
■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

禁止 してはいけない「禁止」の内容です。

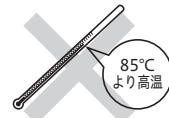
必ず実行 必ず実行していただく「強制」の内容です。

警告

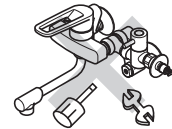
禁止 湯水を逆に配管しないでください。
 水を出そうとしても、湯が出てやけどをすることがあります。
 必ず給水管が右側、給湯配管が左側に配管されていることを確かめてください。



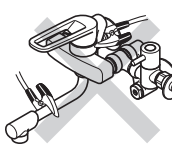
禁止 給湯温度は85℃より高温で使用しないでください。
 給湯器の給湯温度は60℃以下の設定をおすすめします。
 85℃より高温でご使用になると、水栓の寿命が短くなり、破損して、やけどをしたり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



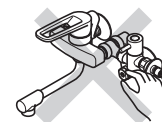
禁止 この商品を構成する部品以外の取り付けや、部品の取りはずし等の改造はしないでください。
 器具が破損し、やけど・けがをしたり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



禁止 配管などの解氷のため、解氷機を使用する場合は、水栓には絶対に通電しないでください。
 通電すると水栓が発熱し、破損して家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

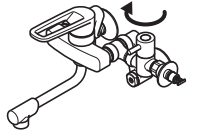


禁止 [寒冷地仕様の場合]
 水抜き栓は水抜き以外の目的で開けないでください。
 水抜き栓をいきなり開けますと高温の湯が出てやけどをしたり、湯水が噴き出して、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

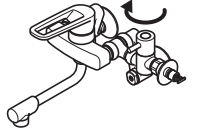


警告

必ず実行 給水ホースが接続されていない場合は、分岐止水ハンドルは必ず閉めてください。また、ワンタッチノズルの先端(白い部分)を押さないでください。
 高温の湯が出てやけどをしたり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

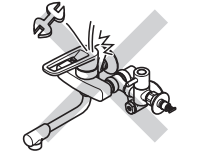


必ず実行 ワンタッチノズルをはずす場合は、分岐止水ハンドルを確実に閉めてからノズルをはずしてください。
 分岐止水ハンドルが開いた状態でワンタッチノズルをはずすと、高温の湯が出てやけどをしたり、湯水が噴き出して家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

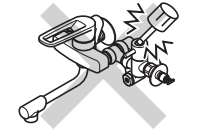


注意

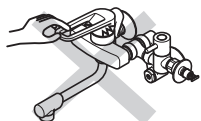
禁止 器具に強い力や衝撃を与えないでください。
 器具が破損し、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



禁止 めっき部品はぶついたり落としたりしないでください。
 鋭利な物や硬い物を当てないでください。
 めっきの表面が割れてけがをするおそれがあります。



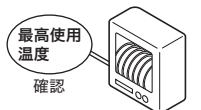
必ず実行 めっきの表面が割れた場合は使用しないでください。
 けがをするおそれがありますので、ただちに使用を停止し、新しい部品に交換してください。



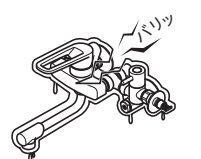
必ず実行 浄水器、整水器などをご使用になる場合は、給水接続で使用してください。
 機器が故障するおそれがあります。



必ず実行 食器洗い乾燥機などに接続する場合は、接続機器の最高使用温度を確かめてから使用してください。
 最高使用温度より高い温度で使用しますと、接続機器が破損するおそれがあります。



必ず実行 凍結が予想される際は、一般地仕様をお使いの場合は少量の水を出しておくか配管に布を巻くなどして凍結を防止してください。
 寒冷地仕様をお使いの場合は配管の水抜き操作と水栓金具の水抜き操作を行ってください。
 水抜きしないと凍結破損で漏水し家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

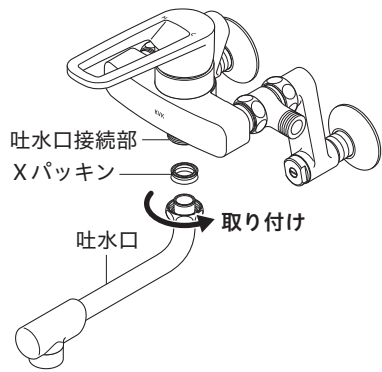


4 取り付け手順 2

5 吐水口の取り付け

吐水口を吐水口接続部に接続します。締め付けは、二面幅に合わせてモンキーレンチなどで確実に行ってください。

注意 締め付ける際は傷がつかないように、あて布等をしてください。



6-1 分岐水栓の取り付け

分岐水栓取り付け時のご注意

- 警告**
- 取り付け後の通水は、必ず分岐水栓に給水ホースを接続してから行ってください。給水ホースを接続しない場合は分岐止水ハンドルを必ず閉めてから通水してください。高温の湯が出てやけどをしたり、湯水が噴き出して、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
 - 給水ホースが接続されていない場合は、分岐止水ハンドルは必ず閉めてください。また、ワンタッチノズルの先端(白い部分)を押さないでください。高温の湯が出てやけどをしたり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
 - 分岐水栓のワンタッチノズルには緊急止水機能がついていますので、万一給水ホースがはずれた場合や給水ホースを付けない状態では、緊急止水機能が働いて通水されません。
 - 分岐水栓は給水・給湯どちらでも使用できますが、浄水器や整水器などをご使用になる場合は、給水接続で使用してください。また、食器洗い乾燥機の場合、給湯器の設定温度によっては給水接続しかできない場合がありますので、接続する機器の仕様を十分確認してください。
 - 接続の場合は、接続する機器(食器洗い機など)の給水条件および施工上の注意事項をよくご確認ください。
 - 分岐水栓以降に接続された設備については保証の対象外となります。
 - 給水ホースをはずす際は、必ず分岐止水ハンドルが閉まっていることを確認してください。通水中に給水ホースをはずさないでください。万一はずれた場合は、ワンタッチノズル内に圧力がたまり、再度取り付けの際、接続しにくい場合がありますので「ワンタッチノズルの圧逃し」を行ってください。

7 ページ

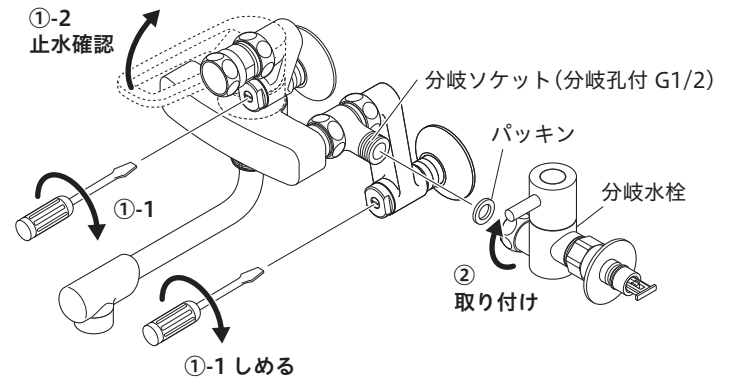
6-2

水側分岐をする場合

- 湯水の止水栓の止水弁または元栓をしっかりとめて、湯水が出ないことを必ず確認してください。
- 右側(水側)の分岐ソケット(分岐孔付)に、分岐水栓を取り付けます。

注意 締め付けは、六角の二面幅に合わせてモンキーレンチ等で確実に行ってください。しっかり締め付けられていないと、漏水するおそれがあります。

【お願い】 締め付ける際は傷がつかないように、あて布等をしてください。

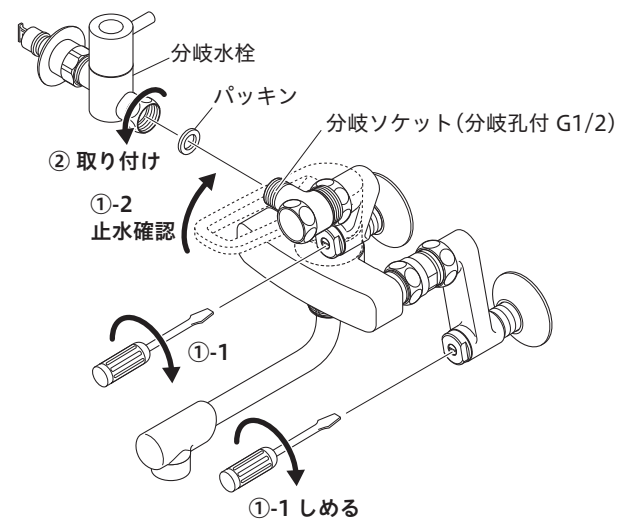


湯側分岐をする場合

- 湯水の止水栓の止水弁または元栓をしっかりとめて、湯水が出ないことを必ず確認してください。
- 左側(湯側)の分岐ソケット(分岐孔付)に、分岐水栓を取り付けます。

注意 締め付けは、六角の二面幅に合わせてモンキーレンチ等で確実に行ってください。しっかり締め付けられていないと、漏水するおそれがあります。

【お願い】 締め付ける際は傷がつかないように、あて布等をしてください。



8 ページ

4 取り付け手順 3

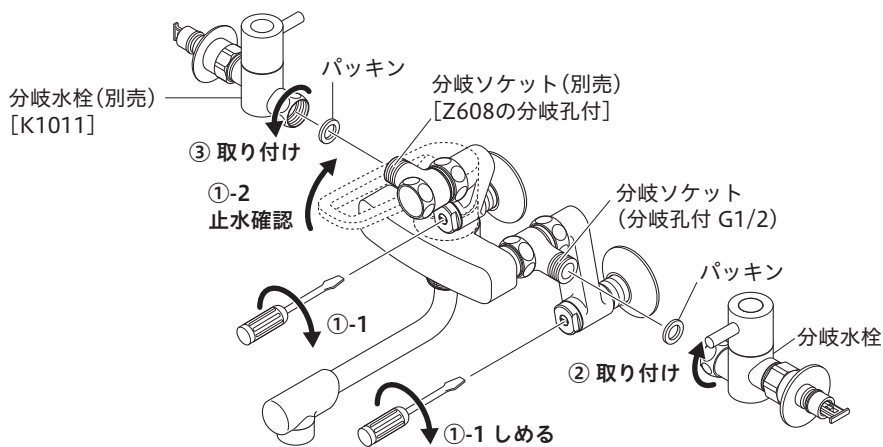
6-3 湯・水同時分岐する場合

別売の分岐ソケット[Z608]1個と、別売の分岐水栓[K1011]1個を用意してください。

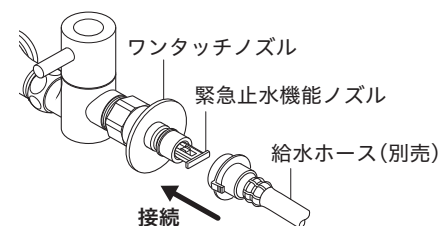
- 湯水の止水栓の止水弁または元栓をしっかりとめて、湯水が出ないことを必ず確認してください。
- 右側(水側)分岐ソケット(分岐孔付)に分岐水栓を取り付けます。
- 左側(湯側)分岐ソケット(分岐孔付)に別売の分岐水栓[K1011]を取り付けます。

注意 締め付けは、六角の二面幅に合わせてモンキーレンチ等で確実に行ってください。しっかり締め付けられていないと、漏水するおそれがあります。

【お願い】 締め付ける際は傷がつかないように、あて布等をしてください。



7 給水ホース(別売)の接続



注意 日本電機工業規格JEM1206に合致しない給水ホース継手は使用しないでください。通水不良や水漏れのおそれがあります。

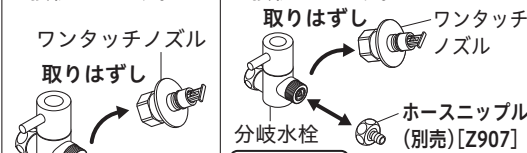
ワンタッチノズルの圧逃し方法

万一通水中に給水ホースがはずれた場合は、ワンタッチノズル内に圧力がたまり、再度取り付けの際、接続しにくい場合がありますのでワンタッチノズルの圧逃しを行ってください。

取扱説明書「ワンタッチノズルの圧逃し方法」参照

その他の接続例
分岐水栓先端のワンタッチノズルは取りはずしができます。この場合、緊急止水機能は動きませんので注意してください。

G1/2のナット(別売)が接続できます。



注意 ホースニップルの接続先では止水しないでください。ホースが抜けるおそれがあります。ホースニップルは食器洗い乾燥機には使用できません。

9 ページ

5 取り付け後の点検と清掃

5-1 通水確認

注意 水栓取り付け後、通水して湯水の出し止めに5~6回繰り返し、配管接続部および水栓から水漏れがないことを確認してください。確認しないと、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

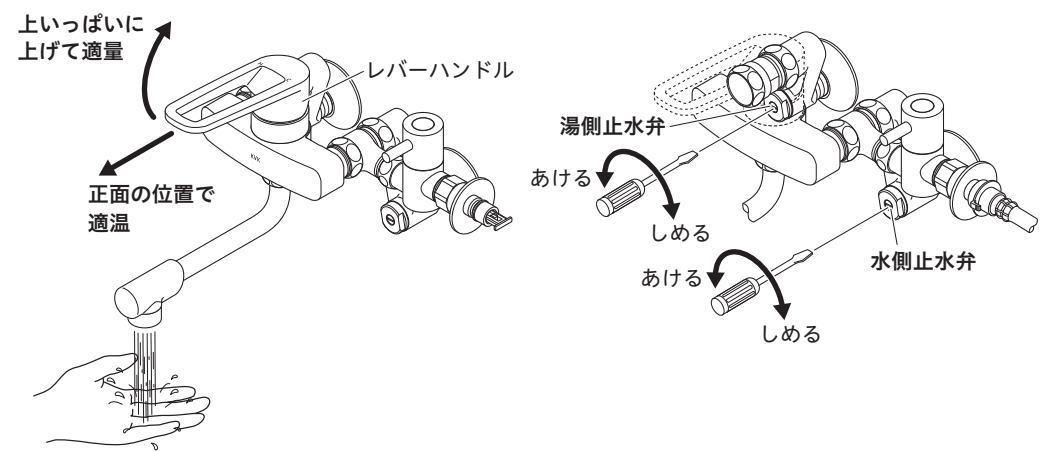
5-2 ストレーナ清掃のお願い

ストレーナは施工後必ず清掃してください。吐水口のストレーナにゴミ等がたまりまると、吐水量が減ったり、きれいに流れなくなったりします。

取扱説明書「日常のお手入れ」参照

5-3 湯温・流量の調節

下記の方法で止水弁を操作して流量の調節をしてください。時計回りに回すと流量が少なくなり、いっぱいまで回すと止水します。また、反時計回りに回すと流量が多くなり、いっぱいまで回すと最大流量となります。レバーハンドルが正面を向いている位置で適温、全開吐水で適量になるように、止水弁で調節します。



6 故障かなと思ったら

修理を依頼される前にお確かめください。

取扱説明書「故障かなと思ったら」参照

水栓本体内部のメンテナンスをする場合

注意 修理技術者以外の方は水栓本体内部を分解しないでください。故障や水漏れの原因となります。水栓本体内部のメンテナンスは、取付店・販売店またはKVK修理受付センターにご依頼ください。

10 ページ

404956-00